

尼崎出身画家・白髪一雄ゆかりの地調査と関連マップづくり



DATA

- 主な連携先・メンバー
公益財団法人尼崎市文化振興財団 妹尾綾氏・藤巻佐和子氏
- 活動地域
兵庫県尼崎市
- 活動期間
2019年度
- 活動資金
関西大学地域連携活動に対する補助事業



(C)公益財団法人尼崎市文化振興財団 2020



活動の目的

国際的に評価の高い抽象画家・白髪一雄ゆかりの地を調査し、まち歩きマップを作成することで、重工業の街のイメージが強い尼崎が、実は近世から交易の中心地として栄え、豊かな町民文化を育んだ城下町であり、その風土が近代化以降も文化人に受け継がれてきたことを広く市民に紹介する

連携にいたる経緯

尼崎市文化振興財団では、「郷土画家・白髪一雄 作品整備・発信事業」を行い、市民のみならず広く国内外に向け、白髪芸術を介した尼崎市の芸術文化の紹介と振興に努めている。平井は、前職の美術館学芸員時代から白髪一雄の作品を研究してきたことから、2018年度よりこの事業のアドバイザーを務めており、事業のさらなる発展を期して今回の企画を発案するに至った。

活動内容

尼崎市文化振興財団と平井、平井ゼミの院生・学部生で打ち合わせを重ね、白髪一雄ゆかりの地をピックアップし、マップの内容を協議。それにもとづき10月にゆかりの地の実地調査を行った。調査をもとに尼崎市文化振興財団学芸員の藤巻氏が作成したマップのデザイン案を12月に尼崎市総合文化センターで検討し、3月にマップが完成した。

また、そのマップのお披露目をかね、尼崎市民を対象とした報告会を企画した。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内の実施は中止となったが、可能になった暁には、白髪一雄の画業を紹介する簡単な講座や、マップをもとに藤巻氏や平井が解説を加えるまち歩きのプログラムなどを盛り込み、多くの参加者に向けて尼崎市の芸術文化を広めることに活用したい。

活動の成果

- 1 白髪一雄が幼少期を過ごした1930年代の尼崎に関する写真資料、地図などを子細に調査することで、多くの知見を得ることができた
- 2 尼崎市の芸術文化を広める広報物としてマップを作成することができた。なお、このマップは尼崎市が引き続き使用・配布する

今後の課題・目標

- 1 2020年度から5か年をかけて計画している、白髪一雄の生誕100年(2024年)に向けたさまざまな事業内での当事業の継承・発展
- 2 当事業で得た知見を、大学の授業などにおいて、教育・研究資源として活用すること

教員紹介



■ 文学部 教授

平井 章一
Shoichi Hirai

専門は日米欧の近現代美術史。神戸、東京、京都の4つの美術館、2つの美術館準備室で学芸員として勤務。学生時代から、白髪一雄が在籍した国際的な前衛美術グループ、具体美術協会を研究してきた。また2009~2010年に全国を巡回した白髪没後の回顧展を監修。